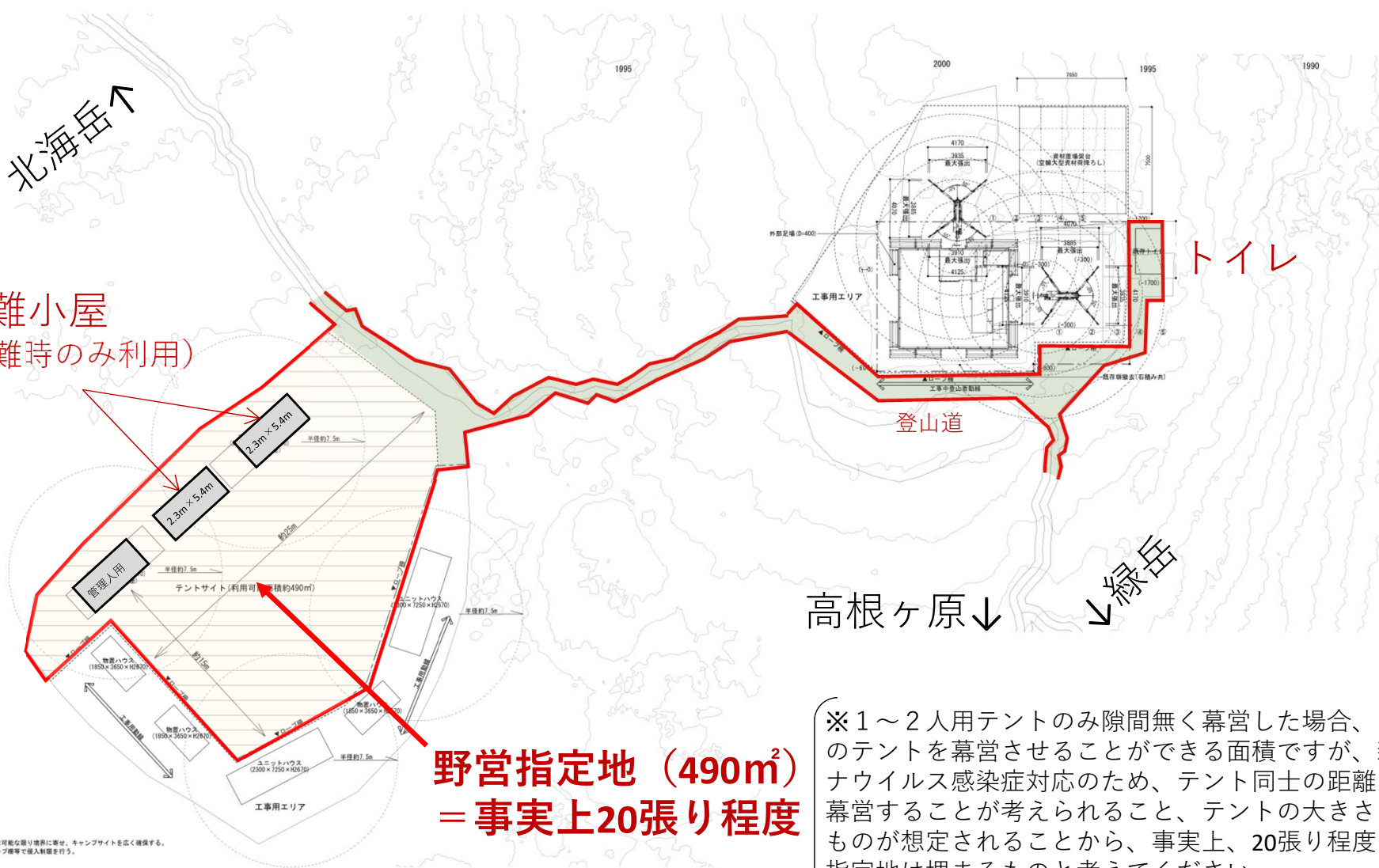


別添2 白雲岳避難小屋周辺利用計画図（登山者が利用可能な区域） （令和2年6月下旬～10月上旬）

北海岳↑

仮設避難小屋
（緊急避難時のみ利用）



**野営指定地 (490㎡)
= 事実上20張り程度**

※1～2人用テントのみ隙間無く幕営した場合、より多くのテントを幕営させることができる面積ですが、新型コロナウイルス感染症対応のため、テント同士の距離を離して幕営することが考えられること、テントの大きさも様々なものが想定されることから、事実上、20張り程度で、野営指定地は埋まるものと考えてください。

※仮設避難小屋の規模、配置及び利用できる野営指定地の現時点での想定です。
※実際に調達できるユニットハウスの内容やヘリコプターの運行の都合等により、変更する場合があります。

・ユニットハウスは可能な限り複数に寄せ、キャンプサイトを広く確保する。
・工事エリアはロープ等で個人制限を行う。